火災一斉メールシステム

取扱説明書・運用開始までの流れ

Ｅタイプ　　Ver1.1　　10.02.26 修正

お急ぎの方は16頁～　ご覧下さい

発行　有限会社 加藤電工

〒877-0044　大分県日田市隈２丁目 1-18

e-mail info@katoden.co.jp　　TEL 0973-23-2188　　FAX 0973-22-7234

目　次

第１章　火災一斉メールシステムのしくみ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
　１－１　従来の方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
　１－２　火災一斉メールシステムの方法・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

第２章　運用準備をしましょう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
　２－１　火災通報装置に「火災一斉メール」電話番号を登録する・・・・ 4
　２－２　携帯メールの登録・テスト送信・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

第３章　「一斉メール設定」サイト（www.kajidesu.com）の使い方・・・・ 6
　３－１　サイトにログイン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
　３－２　施設名、住所などの確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
　３－３　メール送信先追加・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
　３－４　メール送信先／編集・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
　３－５　火災訓練日付設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
　３－６　鎮火メール配信・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
　３－７　おまけ・連絡メール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
　３－８　ログアウト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15

第４章　料金とお支払い方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
　４－１　料金（Ｅタイプ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
　４－２　ご請求と入金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16

第５章　運用までの流れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16

第６章　重要事項説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17

第７章　困ったなと思ったら・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17

はじめに・・・

　この度は　火災一斉メールシステムのご導入をいただき誠にありがとうございます。ご使用前に取扱説明書をご一読頂き、快適にご使用くださいますようお願い申し上げます。また、お取引の消防設備点検業者様向けの「火災通報装置の設定と試験方法説明書」も用意させて頂いております。

さて、万一火災が発生した場合、

- 初期消火
- 避難誘導
- １１９番通報
- 関係者・職員への連絡

と　素早く対処しなければなりません。特に夜間は、少ない人員で対処しなければなりません。

　なかでも関係者・職員への連絡は、電話回線を使用するため職員全員に連絡が届くのに随分時間がかかります。「連絡は、鎮火して１時間後だった」ぞっとする残念な事実です。

この問題を見事に解決したのが、**火災発生**を職員全員に瞬時に知らせる「火災一斉メールシステム」です。職員のほか近隣の協力者様、協力いただける地域消防分団員様など救援や消防力強化につながる多くの方への携帯メール瞬時配信が可能になったのが大きな特長です。また、特許庁に出願し審査をお願いしております

　ご不明な点など、お気軽にお問い合わせ下さい。

第１章　火災一斉メールシステムのしくみ

１－１　従来の方法

万一、火災が発生した場合、下写真の火災通報装置の通報ボタンを押し、１１９番通報を行い、その後、関係者に自動的に火災メッセージを送信する方法が一般的な方法でした。しかし、メッセージを電話回線を使用し音声で伝えるため、最終伝達者まで時間がかかる、確実性に乏しい、多数の職員に伝えるには不向きなどの欠点がありました。また、多くの火災通報装置が携帯電話には十分対応していません。

この問題を見事に解決したのが、火災一斉メールシステムです。

火災通報装置

１－２　火災一斉メールシステムの方法

万一、火災が発生した場合、火災通報装置の通報ボタンを押し１１９番通報を行います。ここまでは従来の方法と変わりません。

火災通報装置は、次に一般通報先へ電話回線を使用しメッセージ送信を始めます。一般通報先数は、火災通報装置によって異なりますが、概ね１０～１６ヶ所です。

「火災一斉メールシステム」では、一般通報先の第１通報先に「火災一斉メールサーバー」電話番号（注１）が設定されており、火災メッセージを受信した「火災一斉メールサーバー」は、着信電話番号（注２）を確認し、次にメッセージ音声内容を確認（注３）し、関係者全員（最大５００名）に数十秒で携帯メールを配信し火災発生を伝えます。

注１　「火災一斉メールサーバー」電話番号：ご契約後、ＩＤ、パスワード、確認番号と共に宅急便等でお送り申し上げます。

注２　「火災一斉メールサーバー」は、あらかじめ登録された火災通報装置収容回線番号であるかを確認します。

あらかじめ登録された収容回線番号と確認された場合、次ステップの音声内容確認に進みます。

収容回線番号が登録内容と確認されなかった場合、回線を切断し待機状態に戻ります。

注３　「火災一斉メールサーバー」は、メッセージ内容の送信手順が法令で定められていますので、次の方法で内容を確認します。

最初に送信される「ピ、ピ、ピ　ピ、ピ、ピ」の特有信号、「火事」、「電話番号」、「こちらは」の単語の何れかでも確認できた場合、「火災メール」を携帯電話に配信します。

確認できなかった場合、「疑火災メール」を配信します。

送信される携帯メール

配信メールには、次の４つのパターンがあり設定状態により、「火災一斉メールサーバー」から配信されます。

まとめると、

	メッセージ内容を確認できるか？	
	確認できる	確認できない
警戒モード	火災メール	疑火災メール
訓練・点検モード	【訓練・点検】火災メール	【訓練・点検】疑火災メール

【火災メール文例】

携帯メール表題　〇〇病院で火災が発生しました

携帯メール本文　〇〇病院で火災が発生しました。

住所　東京都文京区〇〇町１－１３

電話　０３－１２３４－５６７８

このメールは火災一斉メールシステムより自動で配信されました。

【疑火災メール文例】

携帯メール表題　〇〇病院で火災発生の模様

携帯メール本文　〇〇病院で火災が発生している模様です。

住所　東京都文京区〇〇町１－１３

電話　０３－１２３４－５６７８

このメールは火災一斉メールシステムより自動で配信されました。

【訓練・点検　火災メール文例】

携帯メール表題　訓練・点検　〇〇病院で火災が発生しました

携帯メール本文　訓練・点検です。
〇〇病院で火災が発生しました。
住所　東京都文京区〇〇町１－１３
電話　０３－１２３４－５６７８
このメールは火災一斉メールシステムより自動で配信されました。

【訓練・点検　疑火災メール文例】

携帯メール表題　訓練・点検　〇〇病院で火災発生の模様

携帯メール本文　訓練・点検です。
〇〇病院で火災が発生している模様です。
住所　東京都文京区〇〇町１－１３
電話　０３－１２３４－５６７８
このメールは火災一斉メールシステムより自動で配信されました。

※ 文例中の施設名称、住所、電話番号は、貴施設のものに変更され配信されます。

※ その他〈訓練・点検登録メール〉〈訓練・点検モードへの変更メール〉〈警戒モードへの変更メール〉も配信されます。

第２章　運用準備をしましょう

運用開始までの流れ

使用開始申込書①をＦＡＸ送信、郵便返送
火災通報装置情報②をＦＡＸ送信
↓
ご入金手続き
↓
ＩＤ・パスワード・確認番号を受け取る
↓
運用開始

ＩＤ、パスワード、確認番号を受け取った後、次の手順にて運用を開始します。

２－１　火災通報装置に「火災一斉メールサーバー」電話番号を登録する

火災通報装置の第１通報先に「火災一斉メールサーバー」電話番号を登録します。登録方法は。火災通報装置の取扱説明書に従って登録して下さい。既に数件の登録がある場合は、順次ずらして再登録をお願いします。最後に登録内容を確認します。

※　できればお取引の消防設備点検業者様に依頼頂くことをお薦め致します。

２－２　携帯メールの登録・テスト送信

［１］携帯メールの登録・テスト送信

「火災一斉メール」を携帯電話で受信できるかを確認します。
次項「一斉メールシステムサイト」（www.kajidesu.com）の使い方で詳しく説明します

［２］携帯メールの受信設定

携帯メールを受信できない場合、次の手順で確認しましょう。
携帯電話と言っても、ドコモ、ａｕ、ソフトバンク、ＰＨＳなど様々です。ここでは一般的な名称を使用しながら説明しますので、詳しくは個々の携帯電話通信会社の仕様に合わせ設定して下さい。

① 携帯メールが使用できるように携帯電話通信会社と契約する。
② Ｅメールの一括受信拒否の設定をしている場合は受信側に再設定して下さい。
③ 一括受信をしない場合は、指定受信リストに火災一斉メールアドレスのドメイン kajidesu.com や videw.com を設定下さい。

※「火災一斉メール」は、人命や財産にかかわる重要なメールです。個別設定やグループ分けを行い、火災一斉メール着信音はできるだけ大きく、着信音継続時間はできる限り長く設定して下さい。

※ 携帯メールへの送信元（送信アドレス）と送信者は次の通り

通常系統での配信

送信アドレス　119@kajidesu.com　　送信者　火災一斉メールシステム

予備系統での配信の場合と部署別連絡メール

送信アドレス　kajidesu_119@videw.com　送信者　火災一斉メールシステム

第３章「火災一斉メールシステム」サイト
（http://www.kajidesu.com）の使い方

この「火災一斉メールシステム」サイトは、

- ◊　施設の基本情報の変更
- ◊　管理者の登録・変更
- ◊　携帯電話メールアドレスの登録・変更・テストメール送信
- ◊　防火訓練や点検の日付設定と変更
- ◊　「鎮火メール」「誤報メール」などの続報配信
- ◊　部署別　連絡メールの配信

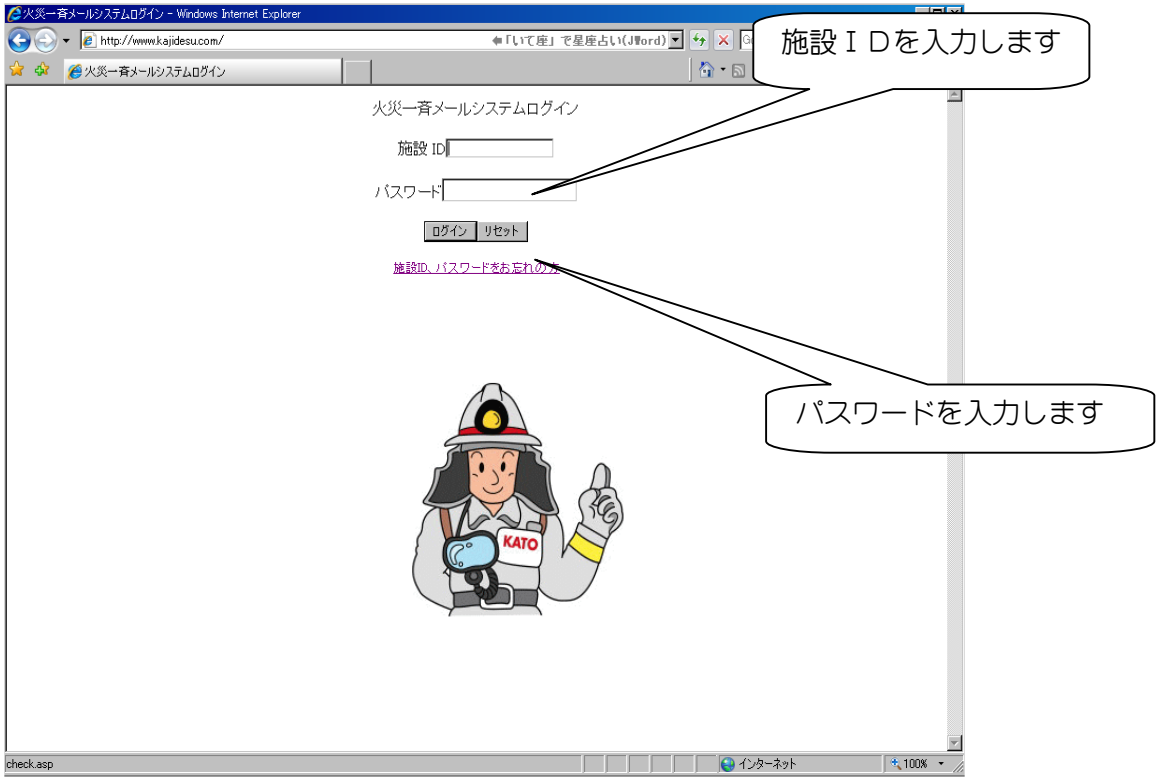
にご使用頂けます。

３－１　サイトにログイン

最初に、サイトにログインする手順をご説明します。
お手元に、施設ＩＤ、パスワード、確認番号が記入された「火災一斉メール」「登録情報」をご用意下さい。

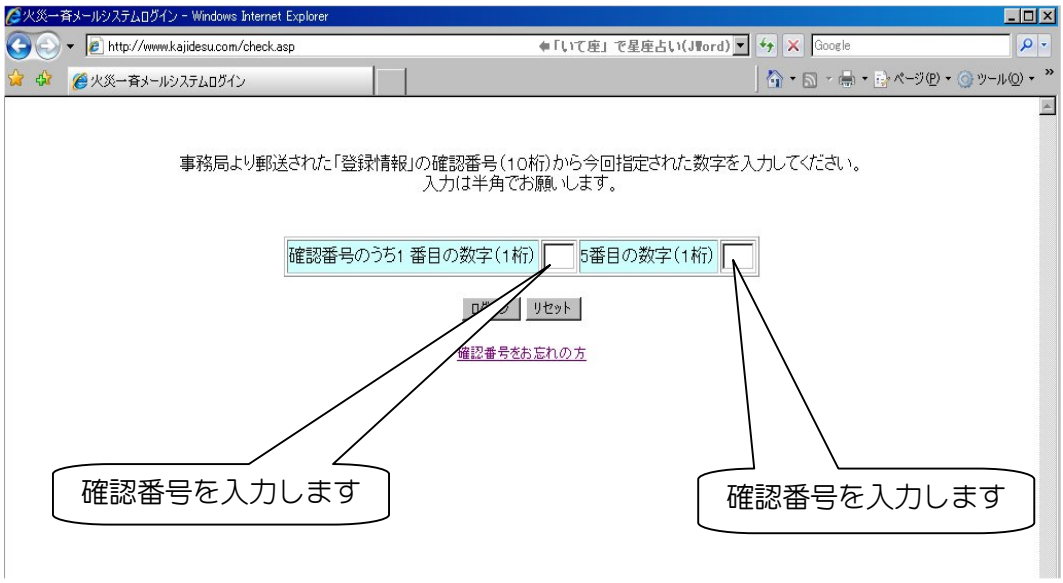
ａ）インターネットから「火災一斉メールシステム」サイト（http://www.kajidesu.com）へ接続します。

ｂ）接続するとログイン画面が表示されます。



施設ＩＤとパスワードを入力しログインボタンを押します。

ｃ）確認番号の入力画面が表示されます。



「登録情報」の確認番号（10 桁）から今回指定された数字を半角で入力し、ログインボタンを押しログインします。

※　パスワードや確認番号を忘れた場合や変更したい場合、ログインボタンの下に、ボタンがありますので、ダウンロードしＦＡＸにて弊社までご連絡下さい。

ログインすると、管理画面が表示されます。

３－２　施設名、住所などの確認

管理画面では、

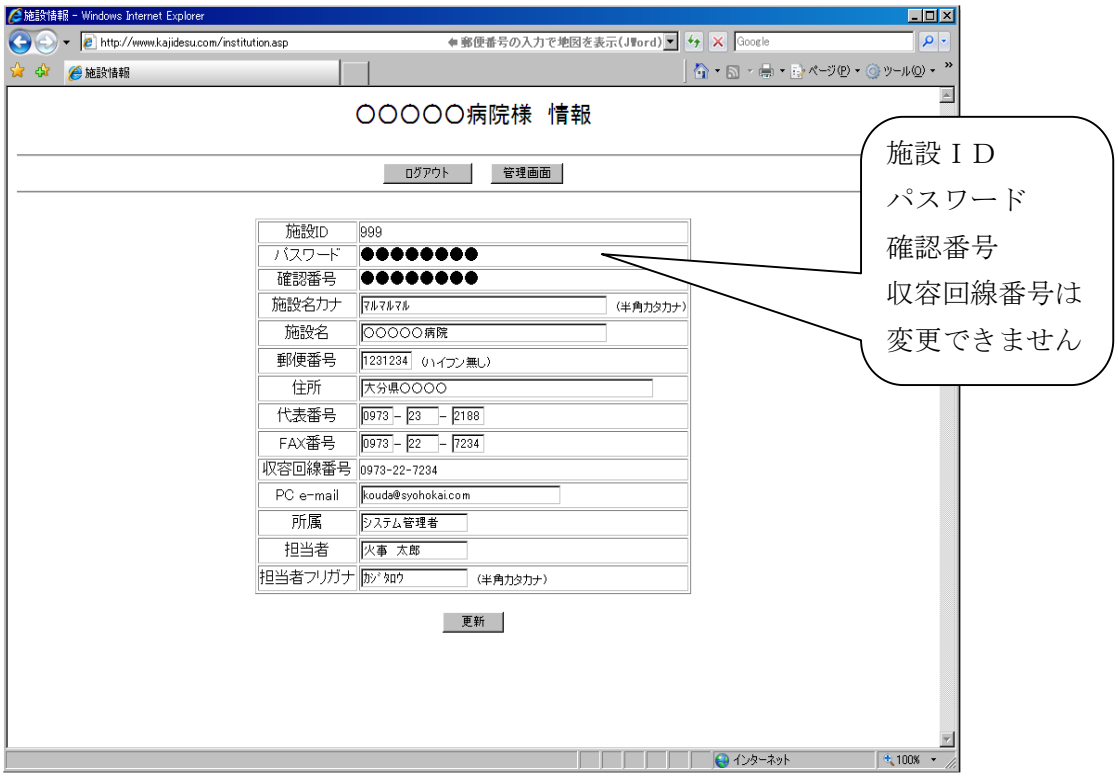
施設情報の編集

メール送信先一覧／編集

メール送信先追加

火災訓練日付設定

を行うことができます。まず施設情報を確認してみましょう。



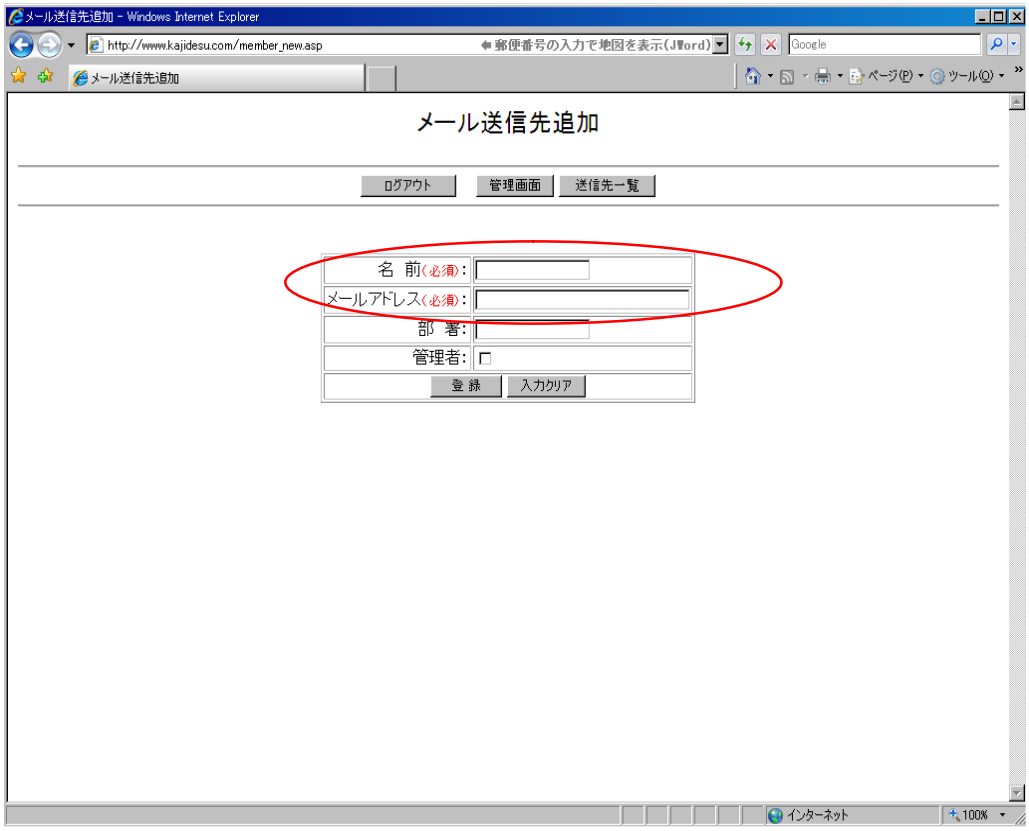
施設ＩＤ、パスワード、確認番号、収容回線番号は変更できませんが、その他の項目はこの画面で変更することができます。

特に、移設などで火災通報装置の収容回線番号が変更になると、本サービスが全く機能しませんので、速やかに弊社までご一報下さい。

３－３　メール送信先追加

まずメール送信先を追加します。

「管理画面」のボタンを押し、一度「管理画面」に戻り、「メール送信先追加」ボタンをクリックします。



名前、携帯メールアドレス（必須）を入力します。

部署を入力します。この場合の部署は、総務課、第１内科など職制毎の分かり易い分類で構いません。また、管理者へチェックを入れると「訓練・点検モード」への変更や「警戒モード」への変更メールを送信します。

３－４　メール送信先一覧／編集

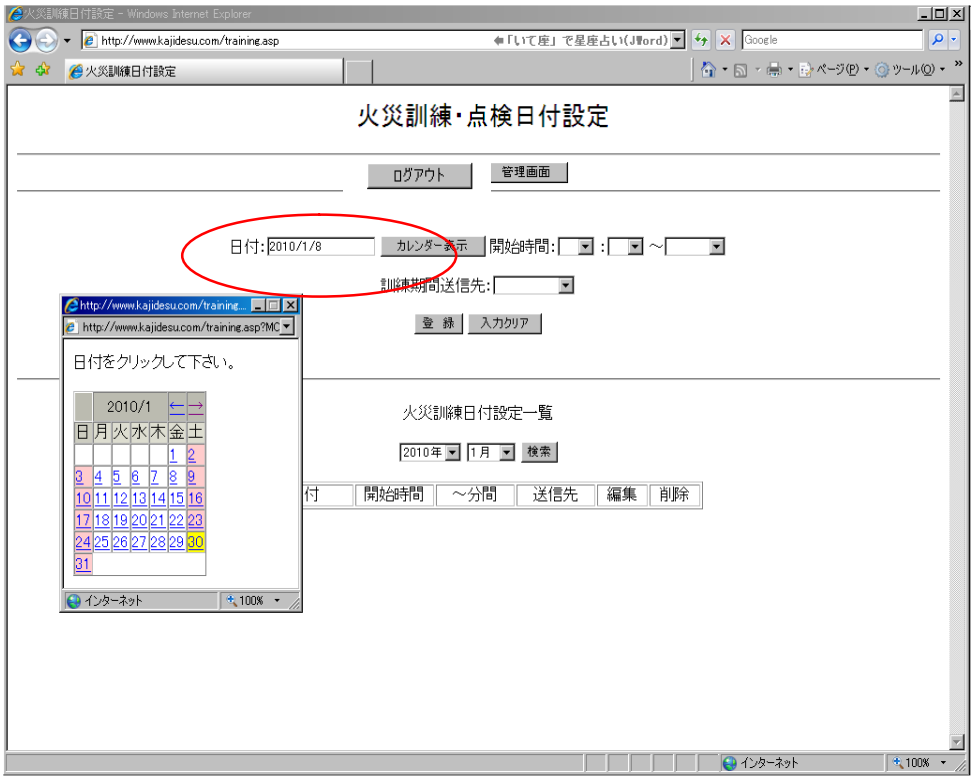
「送信先一覧」表示では、
名前による検索、部署による検索ができます。
また、管理者のみ、一般のみ、全て表示の表示とテストメールの送信、未送信の表示を行うことができます。
加えて、メールアドレスの編集や削除を行えます。
実際にテストメールを送信し送信ができるか否かをチェックし、送信結果は、翌日に日付が変わると表示されその間は空白が表示されます。２回目以降のテストメール送信を行うと空白を表示します。

送信不可であった場合、「送信先一覧」に送信不可と表示されると共に、ＰＣ定期メールアドレスに結果報告されます。携帯メールアドレスや携帯電話が受信可能な設定なのかを確認下さい。

印刷は、ブラウザの印刷機能に依って下さい。

３－５　火災訓練・点検日付設定

　火災訓練では、必ず火災通報装置を使用しますので必ず「訓練点検モード」へ設定を変更しましょう。また、消防設備点検時も点検業者と時間を打ち合わせ「訓練点検モード」への設定変更を忘れないようにしましょう。万一、「警戒モード」のままですと全員に「火災メール」が配信されることになります。

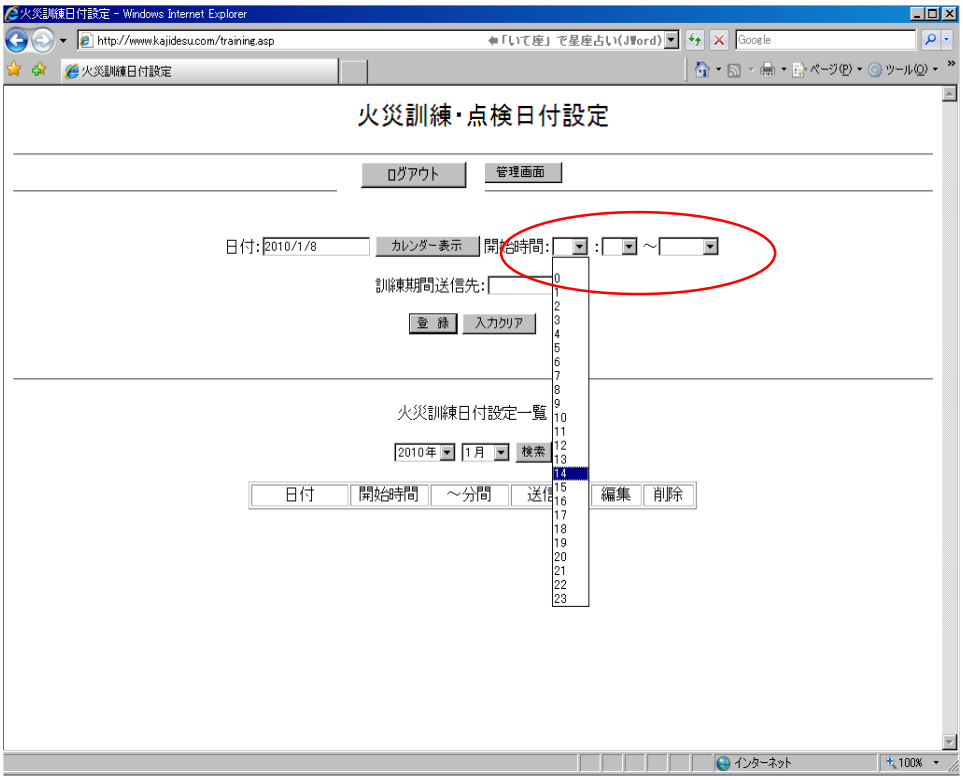


訓練前に「管理画面」から「火災訓練・点検日時設定」へと進み、「カレンダー表示」を使い日付設定を行います。

次に、

▼ マークから開始時間を設定して行きます。

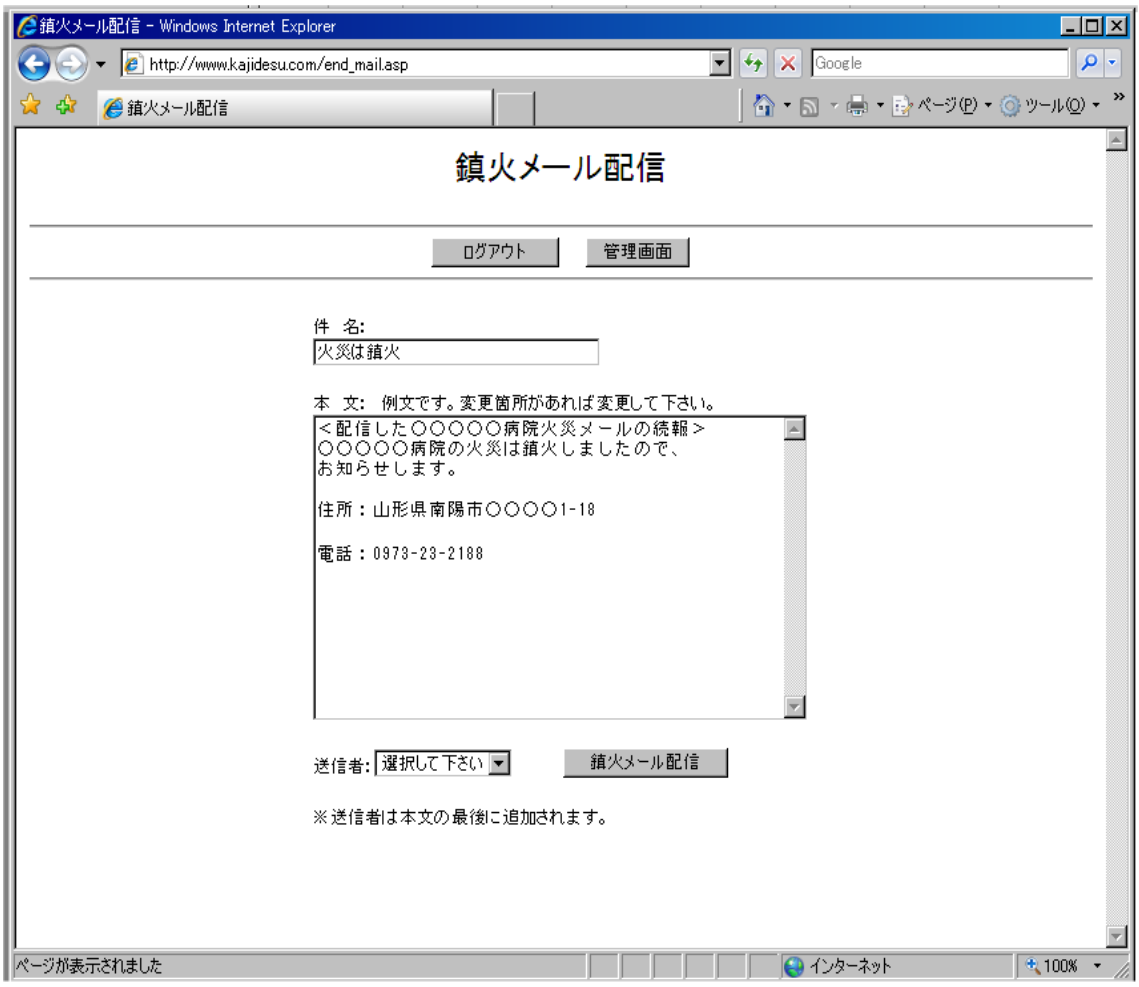
モード変更の設定時間は、３０，４５，６０分間から選択できます。



訓練期間送信先（訓練・点検モードに設定された期間）の送信先を「管理者のみ」か「全員」かの選択をします。「管理者のみ」に設定されていれば、「訓練・点検登録メール」がすぐに管理者のみに配信され、その後、訓練開始設定時間に「訓練・点検モードへの変更」メールが配信され、設定時間経過後「警戒モードへの変更」メールが配信されます。「全員」に設定されていれば、登録された全員に、訓練開始設定時間には「訓練・点検モードへの変更」メールが配信され、設定時間経過後「警戒モードへの変更」メールが配信されます

また、表示画面下部には、「火災訓練日付設定一覧」が表示され、月毎の検索も可能です。訓練や点検を中止する場合は、「火災訓練日付設定一覧」の削除ボタンで削除し、日時変更の場合は、編集ボタンで内容の変更を行います。

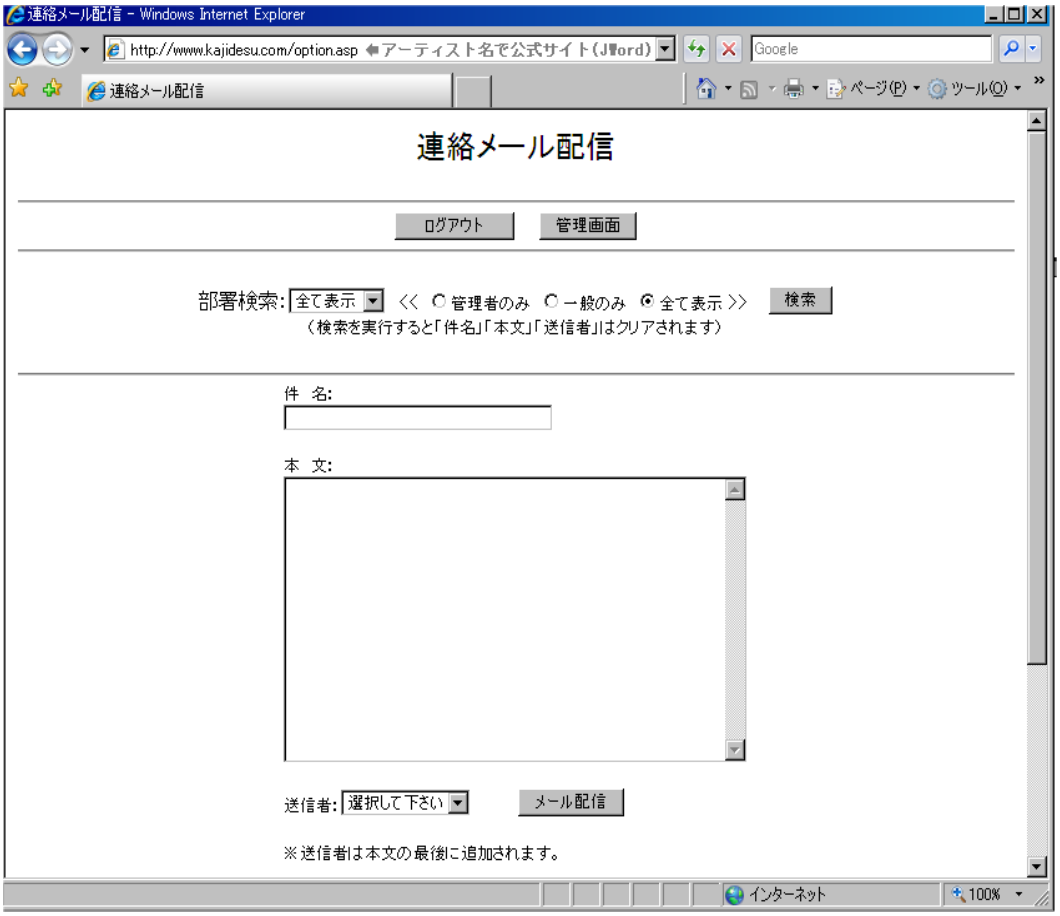
３－６　鎮火メール配信



　万一火災が発生した場合、関係者への続報も必要な作業です。本サービスでは、「火災鎮火メール」と「誤報メール」をメール送信先全員に配信できます。
使用法は、ほとんど変わりませんので「火災鎮火メール」を例にして説明します。
件名・本文は、施設名・電話番号・住所が入力されていますが文章追加もできます。
発信者を選択しメール配信します。

３－７　おまけ・連絡メール

せっかく入力したシステムを日常業務でも使用したいとのお声に応えました。



日常業務の簡単な業務連絡にご使用下さい。

　　配信する部署を検索し

　　管理者のみ・一般のみ・全て表示　かを選択すると

　　下部に選択されたメール送信先が表示されますので

件名、本文を入力し、送信者を選択し「メール送信」します。

送信者は、管理者のみが登録されており、管理者以外の送信はできません。

３－８　ログアウト

携帯メールアドレスの追加・編集や訓練設定などの作業が終了したら、「ログアウト」をクリックしログアウトします。この時、開いていたインターネットブラウザは閉じます。

「火事です！着ＶＯＩＣＥダウンロード」は、四角いＱＲコードを使ってダウンロードできます。火災メール着信時に「火事です、火事です、火災メールです」の女性音声で知らせてくれますので、とても便利に使用できます。詳しい設定は、携帯電話取扱説明書に基づいて行って下さい。

第４章　料金とお支払い方法

４－１　料金（Ｂタイプ）（表示金額は全て税込の金額です）

初期登録料　７，８００円

月額使用料　１，２６０ 円　（初回のみ６ヶ月分前納、次回より１年分前納）

４－２　ご請求と入金

ご契約時のみ初期登録料と月額使用料（６ヶ月分）をご請求申し上げます。次回から、弊社より１２ヶ月分の使用料を期間満了前にご請求申し上げます。残念ながら、期間途中で解約頂く場合は、月を基準とし振込手数料などをご負担頂き精算しご指定口座にご返金いたします。解約申込書は、「火災一斉メールシステム」サイトからダウンロードできますので、ＦＡＸにてお申し付け下さい。

ご入金は、弊社指定の口座にお振り込み下さい。尚、振込手数料は、ご負担願います。

第５章　運用開始までの流れ

ご導入が決まりましたら

１　使用開始申込書①をＦＡＸ送信下さい

使用開始申込書①をＦＡＸ送信し、その後、郵便にてお送り下さい。

▼

２　火災通報装置情報②をＦＡＸ送信下さい

回線収容番号、PC メールアドレス、火災通報装置の型番等をお知らせ下さい。

▼

３　ご入金手続き

ご入金が確認できしだいＩＤ、パスワード、確認番号、ご使用いただく火災通報装置への登録電話番号などを記入した「登録情報」を宅急便などでお送り致します。

▼

４　運用開始

火災通報装置への「火災一斉メールサーバー」電話番号と携帯メールアドレスの登録が終われば即運用開始ができます。

第６章　重要事項説明

次の場合、火災一斉メールが受信できないか、受信までに予想外の時間がかかる場合があります。

- １月１日など多くのメールがインターネット上を錯綜し情報渋滞が高い場合
- 予期せぬインターネット網の混乱や、外部侵入者による障害発生の場合
- 台風、地震など予期せぬ自然災害で弊社設備が破損した場合
- 火災、破裂、爆発、物の飛来若しくは落下又は衝突、犯罪等による障害が発生した場合
- 弊社メールサーバーの定期メンテナンスを実施する場合：この場合事前に電子メールにてご案内すると共に短時間に努めます。
- 使用者様の携帯電話設定が、火災通報メールを受信できない設定の場合
- 外部に依存するメール配信システムに障害が発生した場合

尚、免責事項については、「利用契約約款」をご参照下さい。

第７章　困ったなと思ったら

「火災一斉メールシステム」運用開始前後の代表的なご質問

７－１　Ｑ　火災通報装置への電話番号登録に自信がないのですが？

Ａ　お取引の消防設備点検業者様にご相談頂くのが一番だと思います。「火災一斉メールシステムをご使用いただくための火災通報装置の設定と試験方法説明書」をお渡しいただきご相談ください。簡単に解決いただけます。

７－２　Ｑ　管理者へメールが届かないのですが？

Ａ　本取扱説明書　Ｐ４の「携帯メールの通録・テスト送信」にて再度ご確認下さい。Ｅメールの受信拒否になっている場合も多く解除して、再度テストメール送信を行って下さい。

７－３　Ｑ　当施設には火災通報装置がありません。使用申込みをしたいのですがどうしたら良いでしょうか？

Ａ　まず火災通報装置を設置して頂く必要があります。その後の手続きは同じです。

相談窓口　**有限会社 加藤電工**

〒877-0044
大分県日田市隈２丁目１番１８号
TEL　0973-23-2188
FAX　0973-22-7234
e-mail　info@katoden.co.jp